

軟磁性合金ナノ粒子の合成

課題

磁性体に係る技術の応用、例えば磁気ヘッドへの応用の際は、データやシグナルを精密なものとするために、ヘッドに残留磁化を残さないことが重要です。

解決策

当技術を利用した軟磁性ナノ粒子は、低い保磁力と高い飽和磁力を有しており、また空気中で安定していることから、磁気ヘッド等への応用に適しています。

さらには、その生体適合性から、磁気温熱療法による癌治療にも適しています。

応用

- 癌治療のための磁気温熱療法
- 磁気ヘッド用の材料

キーワード

磁気温熱療法、癌治療、生体適合性、磁気ヘッド、磁気記憶装置、軟磁性、ナノ合金、低い保磁力、高い飽和磁化

連携の可能性

- ライセンシング

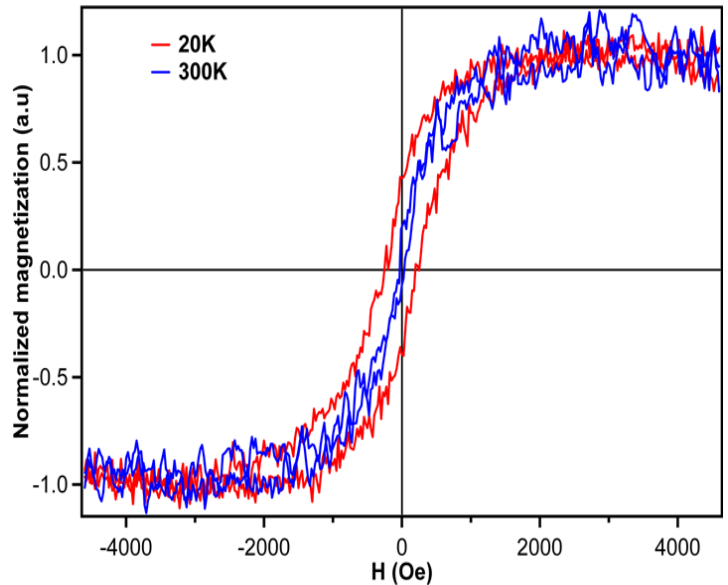
特許

この技術は米国仮出願中です: 62/034,498

問い合わせ先

事業開発セクション・技術移転セクション

bdtl@oist.jp または +81-(0)98-966-8937/ +81-(0)98-966-8834



軟磁性合金ナノ粒子の低保磁力と高い飽和磁力を示す磁化曲線。

条件: 20ケルビン(赤線)と300ケルビン(室温、青線)

利点

- 空気中で安定している
- 生態適合性がある
- その他の材料にも応用が可能